

シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
国語	現代文B	普通科・3学年(文系)	3単位
教科書	[主たる教材] 現代文B(数研出版)		
副教材等	[副教材] 新国語便覧(第一学習社) 熟語を音訓から学ぶ品詞別頻出漢字マスター3000(尚文出版)		

1 科目の目標

近・現代の評論文や小説を読解することで、論理的に考える力と、他者にわかりやすい言葉を選んで表現できる能力を養成する。教材に含まれるさまざまな人間像や思想、社会的歴史的な流れを学ぶことによって、豊かな感性と自分の人生を考察する姿勢を身につける。

2 科目の内容

- (1) 論理的な文書を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。
- (2) 文学的な文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。
- (3) 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。

3 授業計画

月	内 容	配当時間	指導上の留意点
4月	評論：「日本は非論理的か」野矢茂樹 小説：「朝のヨット」山川方夫 小説：「舞姫」第一段	12	評論文においては、筆者の主張と、それを裏付ける具体例の筋道だった文脈を読み取る力を養成し、自分自身の論理能力の向上を図らせる。
5月	○1学期中間考査		
5月	評論：「であることとすること」丸山真男	18	小説においては、時間の流れを正しく読み取り、登場人物の心情が適切に理解できるような観察力を養成する。
6月	小説：「舞姫」第二～四段		
7月	評論：「人はなぜ働かなくてはならないのか」 小浜逸郎 ○1学期期末考査		
7月	・小説「舞姫」第五～十段 ・評論「コピーの芸術」佐々木健一 ・評論「エコロジーのミュージズを求めて」 今福龍太	27	教材の中にある人間観、価値観、歴史観、思想、問題解決の方法論などを理解し、自分自身の体験と引き比べて、将来的な理想像を描かせるとともに、そこに迫るための具体的な方法を思考する姿勢を身につけさせる。
9月	○2学期中間考査		
10月	・小説「檸檬」梶井基次郎	21	大学入試に対応できる力を養成する。具体的には、一学期は記述試験に対応する表現力の養成、夏休み以降はセンター試験に対応する読解力の養成をはかる。
11月	・センター対策演習		
12月	○2学期期末考査		
12月	・センター対策演習 ・問題演習	27	
3月	○学年末考査		

105

4 学習評価

	意欲・関心・態度	書く能力	読む能力	知識・理解
評価の観点・規準	文章を読むことや、それを通して、漢字、語彙、文脈などを積極的に学ぼうとし、さらに、適切に表現しようとしている。	自分の考えなどを他者に正しく伝えるため、適切な言葉を選び、適切な長さで説明することができる。	筆者の主張や、登場人物の心情などを、表記されている文を根拠としての確に読み取ることが出来る。	言語に関する知識のみならず、教材に関連する歴史や思想的背景についても理解している。
評価方法	定期考査、課題テスト、授業内の小テスト、課題提出、ノート点検、授業への取り組みを総合して評価する。			

5 担当教員

国語科教諭

6 担当者からのメッセージ

他者の考えをよく聞き(読み)理解しようとする姿勢は、人間が社会で生きていくためには絶対に必要なものです。現代文の授業は、言葉の知識を増やすだけではなく、他者を理解し、自分自身の思考をも分析し、新しく出会う人や遭遇する事柄に対応する能力を身につける教科です。
①まず、論理的に考えることを心がけましょう。②知らない言葉こそ主体的に学びましょう。③自分の身に重ねて考え、感性を磨きましょう。以上の三つことが出来れば、受験に対応する問題解決力のみならず、現実の自分の問題を解決する力が身につきます。
丁寧に現代文を勉強することは、他の教科の成績アップにもつながります。頑張りましょう。